

2015年度

事業計画実施報告書

公益財団法人日本野球連盟

# 2015年度事業報告

## 1. 総括

2015年度における日本野球連盟主催三大会では、いずれの大会においても近畿勢の活躍が目立った。都市対抗と日本選手権を制した日本生命に加え、大阪ガス、パナソニック、日本新薬が両大会に安定した成績を残した他、連日、レベルの高い試合が繰り広げられた結果、都市対抗では47万人、日本選手権でも17万の観客にご来場いただき成功裏に終了することができた。また、全日本クラブ選手権大会は第40回を記念し、シンボルマークを制定、優勝旗を新調した。さらに、都市対抗・日本選手権に倣い、優勝チームには、チャンピオンフラッグを贈呈、記念事業としては大会40年史も制作した。この記念すべき年の大会を制したのも近畿地区代表の和歌山箕島球友会であった。この一年間の各種大会を温かく見守っていただいた社会人野球ファンならびに関係者の皆様には改めて感謝の意を表す。

なお、クラブチームの急増を受けて2006年度に制定したクラブブロック3大会は発展的に解消とし、本年度より各地区クラブ選手権8大会（中国と四国地区は合同開催）として新たなスタートを切った。全日本クラブ選手権へ向けたステップとなる位置付けの大会として定着させていきたい。一方で「クラブチーム運営ガイドライン」を本年度から完全施行とし、チーム運営のあり方の基礎として周知徹底を図っているところである。

普及振興事業については、加盟団体である少年野球や女子野球各団体を通じた支援策が基本となる。指導者や審判員の育成、少年野球教室、ティーボール教室などを展開、また、同時にJABAのメイン大会の会場である東京ドームと京セラドーム大阪を活用し、日本ティーボール協会の協力も得て、幼稚園児と保護者を対象にしたティーボール教室を実施、参加者は両会場を併せて3千人を超えた。

日本野球連盟としては、主催三大会と各JABA大会の円滑な運営と充実化を図る事が基本的な重点施策であり、これに付随して社会人野球一般ファン層の取り込みとしてのJABA会員拡大と、底辺拡大の一環としての幼稚園児向けティーボール教室の開催促進の2点を当面の課題として取り組んでいく。

2016年2月26日付で加盟団体である日本ポニーベースボール協会が内閣府公益等認定委員会より公益認定取消勧告を受け、公益認定を取り下げるという由々しき事態が生じた。当連盟としては、倫理審査室において協議し、同協会に対し、運営改善要望書を発信、同協会はこれを受け入れ新しい組織としての出直しが始まったところである。

最後に、2020年の東京オリンピックに向けて野球・ソフトボール競技が追加競技として検討されている折、JABAとしても関係する野球関係団体とともにオリンピック・ムーブメントの推進に尚一層努める所存であるが、特に指導の現場における暴力行為の撲滅やコンプライアンスの徹底など課題は少なくはない。関係者が一致協力して公益財団法人としての責務を果たしていかなければならない。

## 2. 事業内容

### (1) 野球競技の普及及び振興に関する基本方針を確立すること

日本野球連盟の基本理念及び活動指針に基づき、野球競技の普及と振興を図るため、各種事業を実施した。

### (2) 野球選手の競技力向上を図ること

#### ① 野球技術等に関する以下の研究会を実施し、中間報告を行った。

競技力向上委員会委員がピッチング・バッティング・守備走塁・フィジカルの4研究会に分かれて参加、1月9日（土）開催の競技力向上委員会において中間報告を行った。

開催日：7月25日、10月31日

②第32回全日本ジュニア強化合宿・・・(資料参照)

1月20日から4日間、東芝グラウンドとく横浜市>JX-ENEOSグラウンド<川崎市>で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した34名の選手が参加した。競技力向上委員会委員が指導を担当した。

③各地区連盟等主催研修会に対する委員又はサポートスタッフの派遣

競技力向上事業をはじめとする各種イベントに従事する競技力向上委員の活動を補うことを目的としてサポートスタッフを置いた。

【クラブチーム技術研修会】

新潟県 5月23日・24日 参加者54名(講師:横井、坂口、石井、杉浦)

岩手県 8月1日 参加者30名(講師:新沼、石井)

東京都 8月22日 参加者39名(講師:石井、仲沢、杉浦)

中国地区 9月19日 参加者33名(講師:原、小島、坂口)

※企業新人研修会と同時開催

近畿地区 11月8日 参加者59名(講師:尾形、原)

九州地区 11月13日～15日 参加者40名(講師:内川、筒井、小島、杉浦)

※企業新人研修会と同時開催

東海地区 11月21日 参加者29名(講師:棚橋、サポートスタッフ 森、梶山)

【企業新人研修会】

中国地区 9月19日 参加者33名(講師:原、小島、坂口)

※クラブチーム技術研修会と合同開催

東北地区 9月26日・27日 参加者28名(講師:新沼、中島、サポートスタッフ 木村)

九州地区 11月13日～15日 参加者40名(講師:内川、筒井、小島、杉浦)

※クラブチーム技術研修会と合同開催

④優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

⑤身体機能基礎調査

競技力向上委員会(医科学担当)が主体となり、社会人野球選手の身体能力・身体特性を把握することで今後の競技力向上ならびに指導上の指針に役立てることを目的に調査を行った。

NTT東日本 2016年2月18日

(3) 野球競技に関する全国規模の各種国内大会及びその他の競技大会並びに講習会等

【全国規模の各種国内大会の開催】

①第86回都市対抗野球大会・・・(資料参照)

7月18日から12日間、東京ドーム<東京都文京区>で開催された本大会では、

「大阪市・日本生命」(13年連続57回目の出場)が4度目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

②第9回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)

8月7日から5日間、東京ドーム他で開催された本大会では、各少年野球団体から32チームが参加し、「羽曳野ボーイズ」が優勝した。

③第40回全日本クラブ野球選手権大会・・・(資料参照)

9月4日から4日間、西武プリンスドーム<所沢市>で開催された本大会では、近畿地区代表の「和歌山箕島球友会」(4年連続6回目出場)が3回目の優勝を飾った。

※第40回全日本クラブ野球選手権大会記念事業の実施・・・(資料参照)

④第41回社会人野球日本選手権大会・・・(資料参照)

10月30日から11日間、京セラドーム大阪<大阪市>で開催された本大会では、近畿地区代表の「日本生命」(4大会連続32回目の出場)が3度目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

⑤各地区クラブ選手権大会

前年度まで「各クラブブロック大会」として実施してきた3大会を発展的に解消し、以下の通り「各地区クラブ選手権大会」として8大会(中国地区と四国地区は合同開催)を実施することとした。なお、2015年度は九州地区を除くクラブ大会を開催した。

主催：日本野球連盟、日本野球連盟各開催地区連盟、毎日新聞社

後援：スポーツニッポン新聞社

協賛：ミズノ株式会社

2015年度の開催状況

大会名	期間	球場	チーム数	試合方法	優勝チーム	準優勝チーム
北海道地区 クラブ選手権	9月4日～3日間	岩見沢市営・ 栗山町営	12	トーナメント	TRANSYS	札幌ホーネット
東北地区 クラブカップ	9月12日～2日間	信夫ヶ丘・ ほばら大泉	8	トーナメント	郡山イーストシヤパン	全白河野球クラブ
北信越地区 クラブ野球選手権	9月12日～2日間	みどりと森の運動 公園・白根	8	トーナメント	千曲川硬式野球 クラブ	佐久コスモスターズ
関東連盟 クラブ選手権	10月10日～2日間	県営大宮・ 市営浦和	8	トーナメント	茨城ゴールデン ゴールズ	YBC 柏
東海地区 クラブ選手権	9月19日・20日 10月24日25日	岡崎市民・ 浜松市営	13	トーナメント	浜松グレイズベースボールBC	アイソ愛工大 OB BRITZ
近畿クラブ会長杯	11月21日～3日間	三菱重工二見G・ 新日鐵住金広畑	10	トーナメント	ミキウス REDS	NSBベースボール クラブ
中・四国クラブ 野球選手権	6月27日～9月6日 (5日間)	マスコットS・関金・ 航空自衛隊防府・ 山口きらら	13	トーナメント	MJG 島根	山口防府 ベースボールクラブ
九州地区クラブ 選手権	2015度は開催なし					

⑥2015年度各JABA公式大会結果(主要大会のみ)・・・(資料参照)

【講習会等の開催】

①公式記録員講習会・・・(資料参照)

7月18日から12日間、東京ドームで開催された第86回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録を担当した。

②第32回全日本ジュニア強化合宿

前項(2)②の通り実施した。

③第40回指導者研修会・・・(資料参照)

1月9日、東京ステーションコンファレンス<千代田区>で行われ、加盟チーム監督、コーチ等64チーム85名が参加した。

④日本中学硬式野球指導者講習会

4会場の講習会に対し、以下の通り12名の講師を派遣した。

	地域	月日	会場	参加団体	参加者数	JABA 派遣
1	南九州	1月23日	薩摩川内市総合体育館	リトルニア ボーイズ・フレッシュ ヤング	130	内川義久(講演) 中村和史(医学) 高司 稷(トレーニング)
2	北九州	1月24日	福岡市TKP ガーデンシティ博多	リトルニア ボーイズ・フレッシュ ヤング・ホニー	178	杉本泰彦(講演) 中村和史(医学) 高司 稷(トレーニング)
3	関西	1月30日	堺市美原文化会館	リトルニア ボーイズ	455	棚橋祐司(講演) 米川正悟(医学) 高田 博(トレーニング)
4	東海	1月31日	鳥羽市民会館	リトルニア ボーイズ	244	棚橋祐司(講演) 米川正悟(医学) 草場昭宏(トレーニング)

⑤第58回全国審判講習会・・・(資料参照)

2月26日から3日間、四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀<丸亀市>に於いて、各都道府県ならびに傘下団体の審判員56名が参加して行われた。

⑥2015年度社会人野球表彰事業

表彰選考委員会において、以下のとおり選考し、決定した。

(ベストナイン) ※年齢は、2015年12月10日時点

位置	氏名	年齢	所属	回数
投手	藤井 貴之	27	日本生命	初
捕手	古川 昌平	23	日本生命	初
一塁手	廣本 拓也	27	日本生命	初
二塁手	峰下 智弘	23	大阪ガス	初
三塁手	多幡 雄一	33	H o n d a	3
遊撃手	山本 真也	31	日本生命	初
外野手	山田 敏貴	27	J X - E N E O S	初
	上西 主起	23	日本生命	初
	市原 一樹	24	三菱重工広島	初
指名打者	高橋 英嗣	31	日本生命	初

(個人賞) ※成績・・・(資料参照)

賞	氏名	年齢	所属	回数
首位打者賞	山田 敏 貴	27	J X - E N E O S	初
最多打点賞	高橋 英 嗣	31	日 本 生 命	初
最多本塁打賞	該当者なし			
最多勝利投手賞	石橋 良 太	24	H o n d a	初
最優秀防御率賞	浜崎 浩 大	25	N T T 西 日 本	初

(表彰式)

期日：12月9日

場所：KKRホテル東京(千代田区)

※社会人野球女性ファン層の拡大を目的として、マイナビとタイアップし、マイナビウーマン会員など20名を表彰式に招待した。

(4) 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合及び国際会議等(日本での開催)

①第25回世界少年野球大会 千葉大会

世界15カ国・地域から約200名の子供たちが参加、9日間に渡り野球教室や各種交流イベントが行われた。JABAから3名のコーチを派遣した。

期 間：8月2日～8月10日

場 所：成田市

②第8回BFA U-15アジア選手権大会

期 間：10月8日～10月12日

場 所：伊豆市

成 績：①台湾 ②日本 ③韓国 ④中国 ⑤タイ ⑥パキスタン

③U-15アジアチャレンジマッチ2015・・・(資料参照)

中学硬式野球協議会より日本代表チームの監督、コーチ、関係スタッフ、及び選手の選考を行った。

期 間：11月21日～23日

場 所：松山市

成 績：①日本 ②台湾 ③松山市

(5) 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合及び国際会議等に対する代表役員、選手を選定し派遣した。

全日本野球協会選手強化本部事業としての派遣

①第27回BFAアジア野球選手権大会・・・(資料参照)

期 間：9月16日～20日

場 所：台湾・台中市

成 績：①韓国 ②台湾 ③日本 ④中国 ⑤パキスタン ⑥インドネシア

②第3回WBSC U-12ワールドカップ大会・・・(資料参照)

全日本軟式野球連盟より役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：7月24日～8月2日

場 所：台湾

成 績：①アメリカ ②台湾 ③ニカラグア ④キューバ ⑤ベネズエラ ⑥日本 ⑦メキシコ  
⑧韓国 ⑨ブラジル ⑩オーストラリア ⑪ロシア

③第8回BFA U-15アジア選手権大会

KWB野球連盟から役員並びに選手を選出し派遣した。

大会結果は(4)②に記載の通り

④全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

- ・日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ
- ・各大会運営スタッフ(審判員、記録員等)

(6) 野球競技に関する指導者、審判員及び記録員等を養成すること

①競技力向上委員会を設置し、野球競技に関する指導者の養成を目的とする協議を行った。

前項(3)に掲げる「第40回指導者研修会」を実施した。

②規則・審判委員会を設置し、野球競技に関する審判員の養成を目的とする協議を行った。

前項(3)に掲げる「第58回全国審判講習会」を実施した。

③記録部会を設置し、野球競技に関する記録員の養成を目的とする協議並びに前項(3)に掲げる「公式記録員講習会」を実施した。また、国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球協会が実施する記録員養成を目的として行われる事業に協力した。

④各地方審判講習会に対する指導員(インストラクター)派遣事業・・・(資料参照)

各地区連盟及び各加盟団体が全日本野球協会によるインストラクター制度によりインストラクターの派遣を受ける場合、派遣に係る費用の一部を日本野球連盟が負担した。

2015年度は14件の申請に対し、それぞれ委員を派遣した。

(7) 野球競技に関する競技規則

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議並びに前項(3)の「第58回全国審判講習会」を実施した。また全日本野球協会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

(8) 野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

①全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画した。

②社会人野球で使用できるバットについては、日本野球連盟(社会人野球)内規に定めた。

③2015年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社とした。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーム

④製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画した。

(9) チームの海外派遣及び外国チームの招聘に関すること、並びに国際交流を通じて野球競技の国際的な普及・振興に寄与すること

①全日本野球協会と連携を図り、チームの派遣・招待に関する事業を実施した。

- ②アジア野球連盟加盟国をはじめ、諸外国からの協力要請がある場合、全日本野球協会との連携を図り、指導者や審判員、記録員、選手等の各種研修活動に協力した。
- ③アジア野球連盟加盟国をはじめ諸外国における野球競技の普及活動に対し、要請に応じて用具等の支援や指導者の派遣を行った。
- (10) 日本体育協会及び全日本野球協会への加盟並びにそれらの事業に協力すること
- ①日本体育協会及び全日本野球協会に各々代表者を選出した。
- ②加盟団体として必要とされる事業協力を行った。
- (11) 全日本野球協会を通じて国際野球連盟、アジア野球連盟及び日本オリンピック委員会の事業に協力した
- ①全日本野球協会に代表者を派遣し、同連盟を通じて以下に掲げる団体の事業に参画した。  
日本野球機構、IBAF、BFA、JOC、JADA等への協力。
- ②全日本野球協会における選手強化本部事業のうち、以下に掲げるカテゴリーの日本代表チームに関する編成業務について協力した。
- ・女子日本代表
  - ・U・15日本代表(硬式)
  - ・U・15日本代表(KB)
  - ・U・12日本代表(硬式)
- (12) 野球競技に関する刊行物
- ①2015年版公益財団法人日本野球連盟報の発行
- ②2015年版公認野球規則の発行に対しての協力
- ③JABAニュースを年12回(月1回)発行
- ④社会人野球ガイドブックグラندスラム(小学館刊行)に対する制作協力
- ⑤日本野球連盟の公式記録完全マニュアルの販売
- ⑥都市対抗野球大会80年史、社会人野球日本選手権大会40年史の販売
- ⑦全日本クラブ野球選手権40年史の制作、販売
- (13) 本条に定める事業の遂行に必要な財源調達を図るための事業  
公益事業で掲げた野球大会のグッズ、野球に関する書籍等の販売を行った。
- (14) その他目的を達成するために必要な事業
- ①幼稚園児向けティーボール教室の開催
- ・都市対抗開催期間中の7月26日に東京ドームにおいて開催。参加者は地元文京区を中心に東京都内から親子約2500名。また、日本選手権開催中の11月8日には京セラドーム大阪で開催、主に大阪市内から親子約800名が参加した。指導には、日本ティーボール協会並びに女子プロ野球選手らの協力を得た。
  - ・東日本大震災復興支援事業の一環として2会場(8月4日に石巻、8月10日に福島)で開催。



- ②加盟団体研修事業に対する補助金の支給  
各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成を行った。
- ③野球競技普及振興助成金・・・(資料参照)  
JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。  
・普及振興事業全国一斉実施41件  
・ティーボール普及活動31件
- ④JABA登録システムの再構築に伴う各地区での研修会の実施  
JABA、各地区連盟、各都道府県連盟における加盟登録等に関する業務効率の向上を図るため、新システムを導入し、運用を開始した。また、運用開始に先立って各地区で説明会を実施した。
- ⑤東日本大震災野球復興事業  
東北地区連盟との協議により以下に揚げる東日本大震災野球復興事業を支援した。  
・交流試合  
・ティーボール教室  
・都市対抗野球大会への招待
- ⑥2015年プロ球団との交流試合の実施・・・(資料参照)
- ⑦NPO法人アオダモ資源育成の会への参画  
アオダモ資源育成の会に委員を派遣した。また、都市対抗野球大会開催中に募金活動を実施し、集まった募金359,488円を寄付した。
- ⑧国内独立リーグとの交流試合  
国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。  
また、JABA四国大会には、香川オリブガイナースが参加した。
- ⑨連盟概要に関する情報公開並びに広報活動の充実化を目的として、公式ホームページを運営
- ⑩野球競技の普及振興策協議のため、加盟団体代表者との懇談会の開催
- ⑪日本中学硬式野球協議会への参画
- ⑫野球殿堂博物館に役員・委員を派遣
- ⑬公益財団法人スポーツ安全協会に委員を派遣

### 3. その他報告事項

- (1) 2015年度加盟チームの推移・・・(資料参照)
- (2) 2015年度加盟チーム数及び登録者数・・・(資料参照)
- (3) 2015年度加盟チームの変更事項・・・(資料参照)
- (4) 2015年度一般賛助会員数(JABAクラブ)・・・(資料参照)

(5) 2015年度会議開催状況

①評議員会

第1回定時評議員会	5月13日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回臨時評議員会	11月11日	書面にて開催
第2回臨時評議員会	2月17日	東京ドームホテル

②理事会

第1回定時理事会	4月24日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回臨時理事会	7月17日	東京ドームホテル
第2回臨時理事会	10月29日	ホテル日航大阪
第3回臨時理事会	12月9日	KKRホテル東京
第2回定時理事会	2月3日	ジャパンベースボールセンター会議室

③業務執行会議

第1回業務執行会議	4月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回業務執行会議	7月8日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回業務執行会議	10月20日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回業務執行会議	12月2日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回業務執行会議	1月25日	ジャパンベースボールセンター会議室

④各委員会

【事業統轄委員会】

第1回事業統轄委員会	3月19日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回事業統轄委員会	5月21日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回事業統轄委員会	6月18日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回事業統轄委員会	8月20日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回事業統轄委員会	9月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
第6回事業統轄委員会	11月19日	ジャパンベースボールセンター会議室
第7回事業統轄委員会	1月21日	ジャパンベースボールセンター会議室

【競技力向上委員会】

第1回競技力向上委員会	5月29日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回競技力向上委員会	7月25日	東京ドーム
第3回競技力向上委員会	10月31日	京セラドーム大阪
第4回競技力向上委員会	1月9日	ジャパンベースボールセンター会議室

【規則・審判委員会】

第1回規則・審判委員会	4月15日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回規則・審判委員会	1月15日	ジャパンベースボールセンター会議室

【公式記録部会】

第1回公式記録部会	3月5日	ジャパンベースボールセンター会議室
-----------	------	-------------------

【コンプライアンス委員会】

第1回コンプライアンス委員会	5月13日	ジャパンベースボールセンター会議室
----------------	-------	-------------------

【クラブ野球活性化委員会】

第1回クラブ野球活性化委員会	5月13日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回クラブ野球活性化委員会	9月17日	ジャパンベースボールセンター会議室

- |                 |       |           |
|-----------------|-------|-----------|
| ⑤地区連盟会長懇談会      | 7月19日 | 東京ドーム     |
| ⑥加盟団体代表者会議      | 2月17日 | 東京ドームホテル  |
| ⑦加盟地方団体事務担当者会議  | 2月18日 | 東京ドームホテル  |
| ⑧日本野球振興世話人会全体会議 | 5月26日 | サピアタワー会議室 |
| 日本野球振興世話人会懇談会   | 7月18日 | 東京ドーム     |

(5) 2015年度 慶弔及び事務局人事

①表 彰

第86回都市対抗野球大会と第41回社会人野球日本選手権大会で優勝し連覇した「大阪市・日本生命」に以下の賞が贈られた。

- ・第65回日本スポーツ賞 (主催：読売新聞社) 『2015年度競技団体別最優秀賞』
- ・毎日スポーツ人賞2015 (主催：毎日新聞社) 『特別賞』
- ・日本ユネスコ協会連盟賞

②逝 去

- |       |        |       |                           |
|-------|--------|-------|---------------------------|
| 2015年 | 5月22日  | 岩見 茂  | (日本野球連盟 元顧問、東北地区野球連盟 元会長) |
| 2015年 | 6月19日  | 西下 壽彦 | (中国地区連盟 理事、山口県野球連盟 理事)    |
| 2015年 | 6月30日  | 根津 裕彦 | (日本野球連盟 参与、中国地区連盟 理事長)    |
| 2015年 | 11月 3日 | 小西 康雄 | (日本野球連盟 理事)               |
| 2016年 | 1月29日  | 小林 幹司 | (日本野球連盟 元顧問、近畿地区連盟 元会長)   |
| 2016年 | 2月 5日  | 松尾 俊治 | (日本野球連盟 元参与)              |